

令和2年度
「研究助成金」受領者16名・「矢崎学術賞」受賞者2名を決定

公益財団法人 矢崎科学技術振興記念財団(理事長:細川興一、所在地:東京都港区、以下「当財団」)は、令和2年度の「研究助成金」受領者16名・「矢崎学術賞」受賞者2名を決定しました。

当財団は、昭和58(1983)年以来、科学技術の発展を目的として「研究助成」事業を行っています。今年度も、独創的かつその成果が科学技術の発展に大きく貢献すると考えられる研究を対象として選考いたしました。

当財団の「研究助成」は、「新材料」・「エネルギー」・「情報」の各分野を対象領域とし、「一般研究助成」・「奨励研究助成」・「特定研究助成」の三つの助成制度です。また、国際的な学会での研究発表や共同研究をする際の渡航費を支援する「国際交流援助」、過去に当財団から研究助成を受けた研究者の中から優れた業績をあげられた研究者に与える「矢崎学術賞」があります。

【一般研究助成(200万円)】(応募79件)

所 裕子(トコロヒロコ) 筑波大学 数理物質系 教授

「高性能蓄熱酸化チタンの開発」はじめ5件

【奨励研究助成(100万円):原則35歳以下の研究者が対象】(応募48件)

鈴木 弘朗(スズキ ヒロオ) 岡山大学 自然科学研究科 助教

「半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成」はじめ10件

【特定研究助成(1,000万円):当財団が特定したテーマにふさわしい研究が対象】(応募9件)

本間 格(ホンマ イタル) 東北大学 多元物質科学研究所 教授

「有機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムイオン電池の開発」

なお、当財団が特定したテーマは以下の通り

1. 「高齢者・身障者への質の高い支援技術に関する研究」
2. 「革新的なモビリティ社会の創出を支える基盤技術に関する研究」

【国際交流援助】(採択なし:新型コロナウイルス感染拡大の影響による国際学会の中止・オンライン開催のため)

該当者なし

【矢崎学術賞】(応募10件)

功績賞:田中 雅明(タナカ マサアキ) 東京大学大学院 工学系研究科 教授

奨励賞(若手研究者を対象):三輪 真嗣(ミワ シンジ) 東京大学 物性研究所 量子物質研究 G 准教授

なお、3月4日に開催を予定していた研究助成金贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、中止いたしました。

◎財団概要

名 称 : 公益財団法人 矢崎科学技術振興記念財団

理 事 長 : 細川 興一

所 在 地 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目 13 番地 3 号 虎ノ門東洋共同ビル

電 話 : 03-5501-9831

設 立 : 昭和 57 年(1982)12 月 15 日(矢崎総業株)の設立 40 周年を記念して設立)

目 的 : 科学技術にかかる研究開発の助成と振興を図り、公益の増進と活力ある社会の実現に資することを目的とします。

基本財産: 9 億 3,410 万円

主務官庁: 内閣府

U R L : <https://www.yazaki-found.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞
公益財団法人 矢崎科学技術振興記念財団
TEL. 03-5501-9831
矢崎総業株式会社 広報部
TEL. 055-965-3002